

第 43 回和歌山臨床細胞学会 総会・学術集会

-プログラム-

平成 30 年 2 月 3 日(土)
(13:00～17:30)

和歌山県 JA ビル
和歌山県和歌山市美園町 5-1-1
(TEL 073-488-5641)

学術集会長 谷本 敏
(和歌山労災病院 副院長)

すべての革新は患者さんのために



中外製薬

Roche ロシュグループ



at the Front Line
CHUGAI ONCOLOGY

中外製薬のがん領域製品ラインナップ

抗悪性腫瘍剤 抗VEGF^{注1)} ヒト化モノクローナル抗体

生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品^{注2)} 薬価基準収載

アバスチン[®] 点滴静注用 100mg/4mL、400mg/16mL

ベバシズマブ(遺伝子組換え)注

抗悪性腫瘍剤 / ALK^{注3)} 阻害剤

劇薬、処方箋医薬品^{注2)} 薬価基準収載

アレセンサ[®] カプセル 150mg

アレクチニブ塩酸塩カプセル

抗HER2^{注4)} 抗体チューブリン重合阻害剤複合体

生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品^{注2)} 薬価基準収載

カドサイラ[®] 点滴静注用 100mg^{*} / 160mg^{*}

トラスツマブ エムタンシン(遺伝子組換え)注

抗悪性腫瘍剤 BRAF阻害剤

劇薬、処方箋医薬品^{注2)} 薬価基準収載

ゼルホラフ[®] 錠 240mg^{*}

ベムラフェニブ錠

抗悪性腫瘍剤

劇薬、処方箋医薬品^{注2)} 薬価基準収載

ゼローダ[®] 錠 300^{*}

カペシタビン錠

抗悪性腫瘍剤

上皮増殖因子受容体(EGFR)チロシンキナーゼ阻害剤

劇薬、処方箋医薬品^{注2)} 薬価基準収載

タルセバ[®] 錠 25mg^{*} / 100mg^{*} / 150mg^{*}

エルロチニブ塩酸塩錠

遺伝子組換えヒトG-CSF製剤

生物由来製品、処方箋医薬品^{注2)} 薬価基準収載

ノイトロジン[®] 注 50μg^{*} / 100μg^{*} / 250μg^{*}

レノグラスチム(遺伝子組換え)製剤

抗HER2^{注4)} ヒト化モノクローナル抗体 抗悪性腫瘍剤

生物由来製品、処方箋医薬品^{注2)} 薬価基準収載

ハーセプチン[®] 注射用 60 / 150

トラスツマブ(遺伝子組換え)製剤

抗悪性腫瘍剤 / 抗HER2^{注4)} ヒト化モノクローナル抗体

生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品^{注2)} 薬価基準収載

パージェタ[®] 点滴静注 420mg / 14mL^{*}

ベルツマブ(遺伝子組換え)注

抗CD20モノクローナル抗体

生物由来製品、処方箋医薬品^{注2)} 薬価基準収載

リツキシサン[®] 注 10mg/mL^{**}

リツキシマブ(遺伝子組換え)製剤

注1) VEGF: Vascular Endothelial Growth Factor(血管内皮増殖因子)

注2) 注意 - 医師等の処方箋により使用すること

注3) ALK: Anaplastic Lymphoma Kinase(未分化リンパ腫キナーゼ)

注4) HER2: Human Epidermal Growth Factor Receptor Type 2

(ヒト上皮増殖因子受容体2型、別称: c-erbB-2)

*の®はF.ホフマン・ラ・ロシュ社(スイス)登録商標

[資料請求先]

中外製薬株式会社

〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1

ホームページで中外製薬の企業・製品情報をご覧ください。

<http://www.chugai-pharm.co.jp>

**

[製造販売元] [資料請求先]

全薬工業株式会社

医薬情報部 営業学術課

〒112-8650 東京都文京区大塚5-6-15

TEL 03-3946-1119 FAX 03-3946-1103

※効能・効果、用法・用量、警告・禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意等は製品添付文書をご参照ください。

2016年7月作成



at the Front Line
CHUGAI ONCOLOGY

がん闘う最前列で、希望に向かう最善策を。
それが、中外オンコロジーの願い。
高度な研究開発力、画期的な製品ライン、
グローバルな情報提供力、専門性豊かな組織とスタッフで、
がん治療をサポートしていきます。

第43回学術集会開催にあたって

第43回学術集会長 谷本 敏
(和歌山労災病院 副院長)

この度、第43回学術集会長を務めさせていただくことになりました産婦人科の谷本です。平成4年に和歌山労災病院に勤務すると同時に和歌山県支部に入りました。その当時、支部はたいへん小さく、少ない細胞検査士を増やす為に養成講座が丁度開講した年でした。その後、和歌山臨床細胞学会と名称を変更後、今回で3回目の学術集会となります。現在の会員数は100名に満たず、相変わらず大きな会とは言えませんが、様々な活動を通して会員一同の結びつきは深く、たいへんまとまりのある会です。その第43回学術集会の開催を担当できることをたいへん嬉しく光栄に感じています。このような機会を与えて下さいました会員の皆様に心より感謝申し上げます。

本学術集会のプログラムとしまして、教育講演は、頭頸部細胞診の第一人者でもある 久留米大学病院 病理診断科・病理部 河原明彦先生に「頭頸部細胞診の実践的な診断アプローチ」と題して講演していただきます。会員の発表の場としては、前回に引き続き、一般演題ではなくスライドカンファレンスと致しました。細胞の見方、考え方についての積極的なディスカッションに回答者以外の方も是非参加して下さい。活発な討論により実りの多いものとなることを望んでいます。特別講演は、昨年度の第57回日本臨床細胞学会と第19回国際細胞学会を主催された、慶應義塾大学医学部 産婦人科教授 青木大輔先生に「子宮頸がん検診の精度管理の考え方」について講演していただきます。そして恒例のフォトコンテストでは、独創的で芸術的な写真をご覧戴けるものと思っています。是非投票を忘れないで下さい。

本学術集会を開催するにあたり、会員の皆様方からのご指導ご協力に心からお礼申し上げます。学術集会の後に懇親会を予定しておりますので、是非参加の程、お願い申し上げます。

会員の皆様方には、積極的に参加していただき、明日の診断や治療に役立つ、充実した情報交換の場になりますよう、宜しくお願い申し上げます。

プログラム

総合司会：吉井 輝子（和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部）

【開会の辞】（13:00～13:05） 学術集会長 谷本 敏

【総 会】（13:05～13:45）

- （1）平成29年度事業報告・平成30年度事業予定 和歌山臨床細胞学会 理事 土居 淳子
- （2）平成29年度会計報告・平成30年度予算案 和歌山臨床細胞学会 理事 田中 真理
- （3）理事会報告 和歌山臨床細胞学会 会長 村田 晋一
- （4）新・細胞診指導医、細胞検査士の紹介 和歌山臨床細胞学会 会長 村田 晋一

（休憩 5 分）

【学 術 集 会】

① 教育講演（13:50～14:35）

座長：真谷 亜衣子（日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部 病理課長）

「頭頸部細胞診の実践的な診断アプローチ」

久留米大学病院 病理診断科・病理部 副技師長

河原 明彦 先生

（休憩 10 分）

② スライドカンファレンス（14:45～15:25）

座長：奥村 寿崇（日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部）

松崎 生笛（和歌山県立医科大学 人体病理学教室）

- （1）子宮頸部 出題者 阪田 幸範（日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部）
回答者 武内 綾菜（和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部）
- （2）耳下腺 出題者 田中 真理（和歌山労災病院 中央検査部）
回答者 紙谷 知子（公立那賀病院 臨床検査科）

（休憩 5 分）

③ スライドカンファレンス (15:30～16:10)

座長：宮木 康夫（日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部）

稲垣 充也（公立那賀病院 臨床検査科）

(3) 体腔液 出題者 木下 勇一（和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部）

回答者 石田 茂己（新宮市立医療センター 中央検査部）

(4) 乳腺 出題者 栗山 行央（紀南病院 中央臨床検査部）

回答者 田端 知佳（和歌山労災病院 中央検査部）

（休憩 10 分）

④ 特別講演 (16:20～17:20)

共催：中外製薬株式会社

座長：谷本 敏（和歌山労災病院 副院長）

「子宮頸がん検診の精度管理の考え方」

慶応義塾大学医学部 産婦人科学教室 教授

青木 大輔 先生

【次期学術集会長挨拶】 (17:20～17:25) 峰 高義（紀南病院 中央臨床検査部）

【閉会の辞】 (17:25～17:30) 和歌山臨床細胞学会 会長 村田 晋一

懇親会 (18:30～)

ホテルアバローム紀の国 羽衣の間 (4 F)

(和歌山県 JA ビル国体道路側 (西側) 前より送迎バス 18:00 出発予定)

- 会場後方にてドリンクサービスを用意しておりますので(無料)、ご自由にご利用ください。
(提供：松浪硝子工業株式会社)
- 顕微鏡を会場後方で用意しております。スライドカンファレンスの症例を鏡検していただけます。
(協力：セイコーメテカル株式会社、Leica Microsystems 株式会社)

会場の案内（和歌山県 JA ビル）〒640-8331 和歌山市美園町5-1-1 Tel : 073-488-5641



【会場および時間】

- ・総会、学術集会 (13:00～17:30) …11AB (11 階)
- ・懇親会 (18:30～) …ホテルアバローム紀の国 羽衣の間 (4F)
- ・細胞検査士総会 (10:45～11:45) …11B (11 階)
- ・理事会 (11:50～12:35) …2-A (2 階)

【会場】



■ 受付

- ・会場前で11時30分から受付を開始します。
- ・参加費は2,000円、懇親会費は3,000円です。
- ・すでに会員のかたは年会費(医師 3,000円、医師以外2,000円)の受付もしております。
- ・新入会も受付しております(年会費をお支払いください)。
- ・出席の先生方には日本医師会生涯教育講座参加証、日本産婦人科学会専門医制度研修出席証明シール、日本産婦人科医会研修シールが配布されます。
- ・CTの方は、クレジットはJSC10点、IAC 5点です。

■ 発表者へのご案内

➤ テータの準備

- ・演題発表と質疑は以下の時間をお願いします。

教育講演：発表時間40分、質疑5分

特別講演：発表時間55分、質疑5分

スライドカンファレンス：

症例呈示1分、回答者回答3分、会場回答2分、出題者解説7分、討論7分

- ・パソコンプレゼンテーション(プロジェクター1面)での発表に限らせていただきます。
- ・会場に発表用のWindowsパソコンを準備します。(Windows8、office 2013使用予定です。)
- ・スライドのサイズは「4:3(標準)」をお願いいたします。
- ・テータはPowerPoint 2010、2013で作成ください。
- ・文字化けを防ぐため、念のためフォントは下記のものをご使用ください。
日本語：MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝
英語：Arial, Century, Century Gothic, Times New Roman
- ・ご自身のPC (Mac、Windows)をお使い頂くことも可能です。動画を含むご発表の場合、再生エラーを防ぐためにご自身のノートパソコンでのご発表をお願い致します。ご自身のPCをお使いになる場合は、接続は各自の責任でお願い致します。
特にMacの場合はご自身のパソコンをご用意いただき「コネクタ」の準備をよろしくお願い致します。
- ・発表テータは、ファイル名を「演題番号 氏名」にしてください。

➤ PC受付(教育講演、特別講演の演者の先生方)

- ・発表の60分前までに受付をお願い致します。
- ・発表テータは、USBメモリーでお持ちください。USBメモリーでお持ちいただいたファイルを、当方の発表用PCにコピーさせていただきます。(終了後確実に削除致します。)

■ 懇親会のご案内

懇親会を18時30分よりホテルアバローム紀の国 羽衣の間(4F)で行います。

和歌山県JAビル正面玄関前より送迎バスが18:00に出発予定です。終了後も、和歌山駅および和歌山市駅などに送迎があります。ふるってご参加ください。

和歌山臨床細胞学会登録用 E メールアドレス送信のお願い。

和歌山臨床細胞学会では、連絡は E メールで送らせていただきます。
wscc@wakayama-med.ac.jp まで登録する E メールアドレス、氏名を
送ってくださるようお願いいたします。(右の QR コードからも読み取れます)



抄録集

バーチャルスライドに関して
スライドカンファレンスの症例を閲覧できます。

【閲覧方法】

- ① 以下のサイトにアクセスしていただき、
Username、Password とともに「wscc」（すべて小文字）を打ち込んでください。
<http://w-hupath.wakayama-med.ac.jp/>（右上の QR コードからも読み取れます）
- ② 「Browse Images」をクリックしてください。
- ③ 「和歌山臨床細胞学会」をクリックしてください。
- ④ 「第 43 回学術集会スライドカンファレンス」をクリックしてください。
- ⑤ バーチャルスライドをクリックして観察してください。
※レイヤーは「Ctrl」を押しながらマウスのホイールを回していただくか、
左上の「0 μ m」の表示をクリックすると変わります。



閲覧

【事前投票方法】

以下のサイトにアクセスしていただき、投票をお願いします。
<https://goo.gl/forms/cWpDpFnoWYUFA20B2>
（右の QR コードからも読み取れます）



投票

教育講演

座長：真谷 亜衣子（日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部 病理課長）

「頭頸部細胞診の実践的な診断アプローチ」

久留米大学病院 病理診断科・病理部 副技師長
河原 明彦 先生

頭頸部細胞診は、唾液腺病変をはじめとしてリンパ節や甲状腺病変、あるいは鼻腔および神経系などから発生する腫瘍が対象となり、主に穿刺吸引細胞診を用いて診断を行う領域である。本領域では原発性腫瘍のみならず、転移性腫瘍あるいは炎症性・感染性を含めた疾患に遭遇するため、観察者には幅広い知識と経験が求められる領域である。穿刺吸引細胞診を用いた診断アプローチは、最適な治療の提供のために重要な検査・診断を担っており、患者診療において必要不可欠な診断法である。唾液腺腫瘍の診断に関しては、唾液腺腫瘍の組織分類や組織・細胞学的特徴について理解を深めておく必要があると同時に、穿刺吸引細胞診における唾液腺病変の診断の限界についても理解しておく必要がある。唾液腺腫瘍の穿刺吸引細胞診は、発生頻度の高い良・悪性の組織型について採取部位や発生年齢を加味した臨床病理学的な診断アプローチを行うことが肝要である。例えば、良性腫瘍に関して、多形腺腫は大唾液腺や小唾液腺に発生し、小児を含めた若年者に発生する腫瘍である。一方、ワルチン腫瘍は高齢者男性の耳下腺に好発し、基底細胞腺腫は中年女性の耳下腺に発生する傾向がある。悪性腫瘍に関して、腺様嚢胞癌は口腔内あるいは顎下部からの発生が多い。このように腫瘍の発生にはある程度の傾向があるため、臨床病理学的情報を加味した鑑別診断の遂行が望まれる。免疫細胞化学に関して、唾液腺腫瘍の細胞診断あるいは組織型の確定に有用なマーカーはさほど多くはないが、p63 やアンドロゲンレセプターなどの検索は推奨されている。この他に WT1, HER2 や mammaglobin 抗体を用いた報告例もあり、免疫細胞化学の併用は診断に役立つツールとされている。今回は、実際に遭遇する頻度の高い唾液腺腫瘍の細胞像や有用な免疫細胞化学を提示しながら、実践的な診断アプローチに必要な情報や所見を含めて述べていく。

ご略歴	1994 年 4 月久留米大学病院病理部 勤務 2005 年 3 月久留米大学大学院医学研究科医科学専攻修士課程 修了 2014 年 4 月久留米大学病院 病理診断科・病理部 副技師長
所属学会	日本臨床細胞学会 評議員（2009 年～現在）、 日本臨床細胞学会 細胞検査士会 渉外委員会委員長（2013 年～現在）、 国際細胞学会細胞検査士フェロー会員（2011 年～現在）、 日本唾液腺学会 評議員（2015 年～現在）、 日本癌学会、日本がん分子標的治療学会、日本臨床衛生検査技師会
その他（受賞など）	2012 年 6 月 日本臨床細胞学会 技師賞（学術部門） 2015 年 6 月 日本臨床細胞学会 最優秀論文賞（英文） 2016 年 6 月 第 51 回小島三郎記念技術賞 最優秀ポスター賞：第 5 回日韓細胞診合同会議（2016 年：韓国） 第 39 回欧州細胞学会（2015 年：ミラノ） 第 40 回欧州細胞学会（2016 年：リバプール）

特別講演

座長：谷本 敏（和歌山労災病院 副院長）

「子宮頸がん検診の精度管理の考え方」

慶應義塾大学医学部 産婦人科学教室 教授

青木 大輔 先生

がん検診事業の評価に関する委員会の報告書には1）、がん検診の在り方として「「有効な」がん検診をより多くの人に「正しく」実施することが必要」と記載されている。ここで言う「有効な」がん検診とは、有効性すなわち死亡率減少効果の確認されたがん検診を指す。擦過細胞診による子宮頸がん検診では、高いエビデンスレベルで死亡率減少効果が確認されている。死亡率減少効果が証明されていてもいい加減に実施すれば効果が現れないばかりか不利益が増大する。前述の報告書にある「正しく」実施するとは、精度管理や事業評価が適切に行われていることを指す。がん検診受診者に対しては、検診による利益（効果）だけでなく不利益についても事前に説明することが必要である。利益は早期発見による救命効果である。一方、不利益を考える際には、まずスクリーニング検査の感度と特異度を勘案する必要がある。細胞診のがんに対する感度は95%程度（偽陰性5%）、一方、特異度は約99.0%（偽陽性1.0%）と報告されている。偽陰性も偽陽性も不利益となる。特に偽陽性者の数は相当数に昇ることに留意すべきである。がん検診では公費が投入されしかも健常者が対象なので、利益を最大化し不利益を最小化することが求められる。実際には検診の質を確保するために事業評価指標を定め、評価が行われ、改善に向けての対策の立案に役立てられている。事業評価指標は、技術・体制的指標のほか、プロセス指標として、がん検診受診率、要精検率、精検受診率、がん発見率などの数値指標の目標値・許容値が公表されているので、目標値・許容値に見合う数値が達成できているかどうかを確認する必要がある。また最近、精密検査結果として浸潤がんだけでなくCIN1～3を個々に把握することも必要となった。がん検診の質の維持・改善のためには、自治体担当者、参加住民、細胞診の判定を含む検診実施機関、精検を受け持つ臨床医のいずれにおいても、このような事業評価指標に基づく精度管理の正しい理解に基づいた共通基盤が必要である。

ご略歴	1982 年 慶應義塾大学医学部卒業 1982 年 慶應義塾大学医学部研修医（産婦人科） 1985 年 慶應義塾大学医学部助手（専修医）（産婦人科学） 1988 年 米国 La Jolla Cancer Research Foundation（現 Sanford Burnham Prebys Medical Discovery Institute）Postdoctoral fellow 1990 年 国立東京第二病院（現 独立行政法人国立病院機構東京医療センター）医員 1991 年 慶應義塾大学助手（医学部産婦人科学） 1996 年 慶應義塾大学専任講師（医学部産婦人科学） 2005 年 慶應義塾大学教授（医学部産婦人科学）
所属学会	日本臨床細胞学会（理事長）、日本産科婦人科学会（常務理事）、日本婦人科腫瘍学会（副理事長）、婦人科悪性腫瘍研究機構（副理事長）、日本産科婦人科遺伝子診療学会（副理事長）、日本婦人科がん検診学会（常務理事）、日本がん検診・診断学会（理事）、日本癌治療学会（理事）、日本癌学会（評議員）、日本人類遺伝学会（評議員）、日本家族性腫瘍学会（理事）、東京都成人病検診等管理指導協議会がん部会委員、等

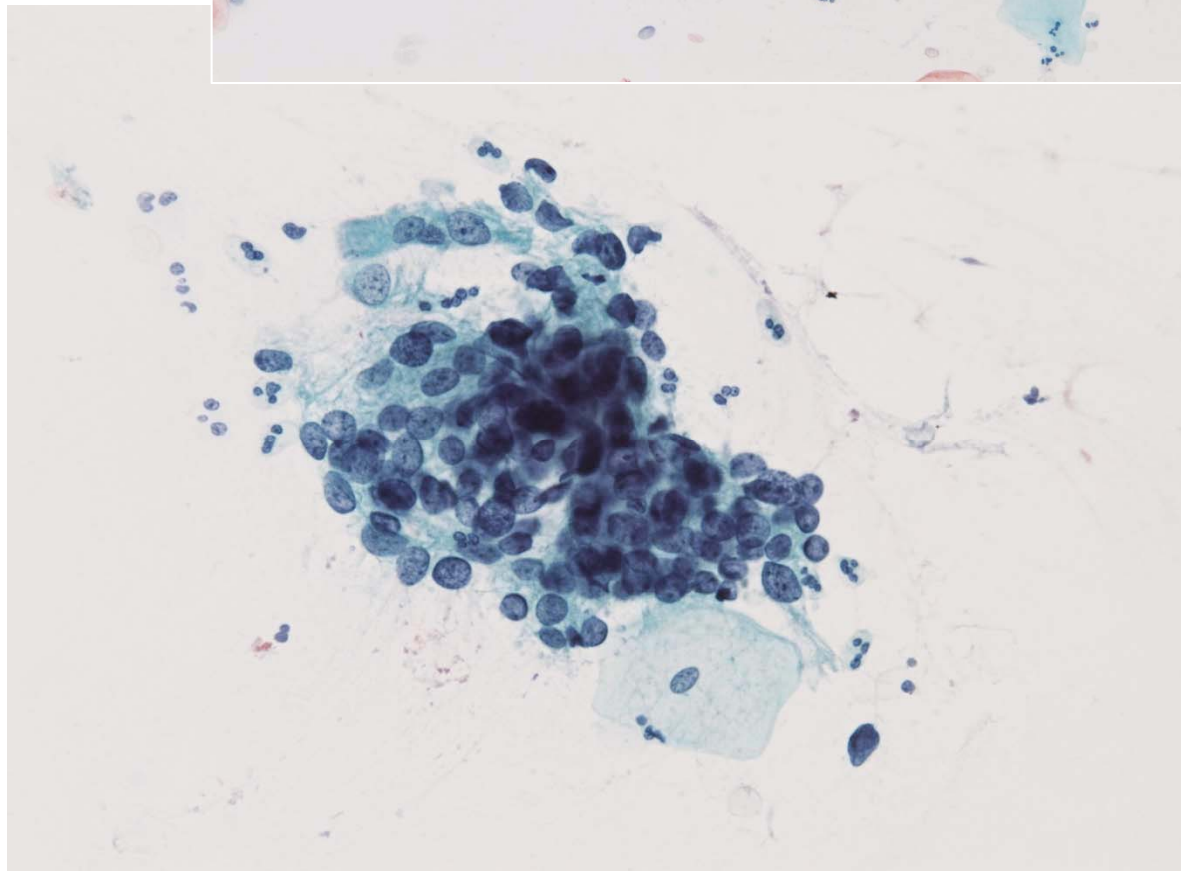
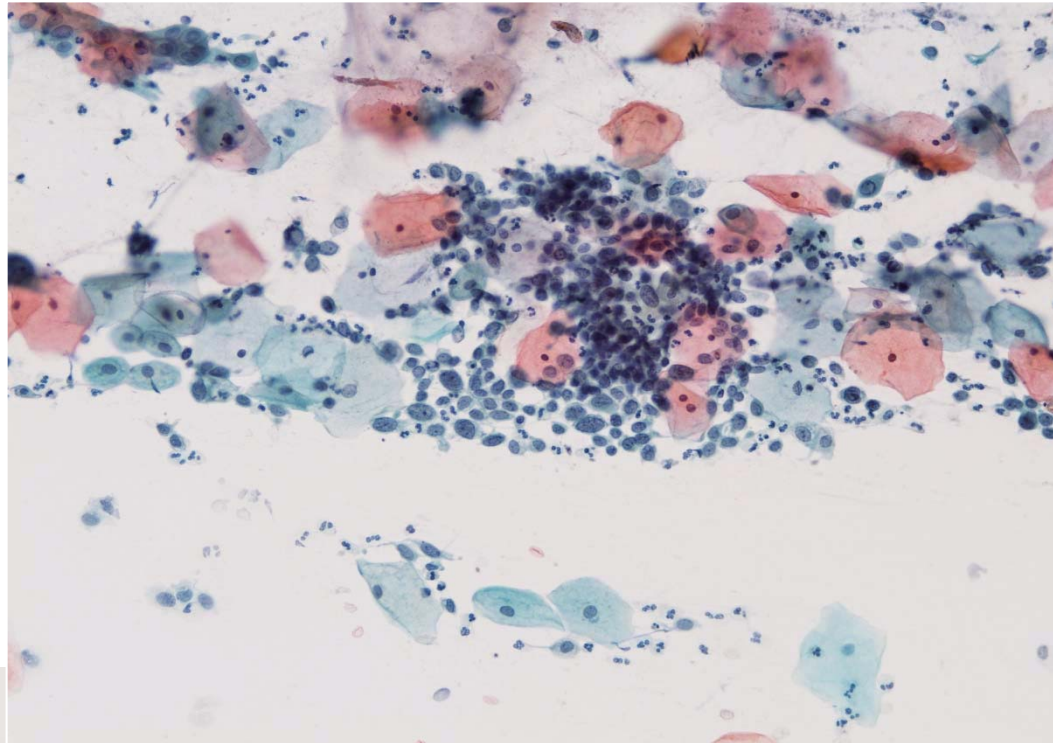
スライドカンファレンス（1）子宮頸部

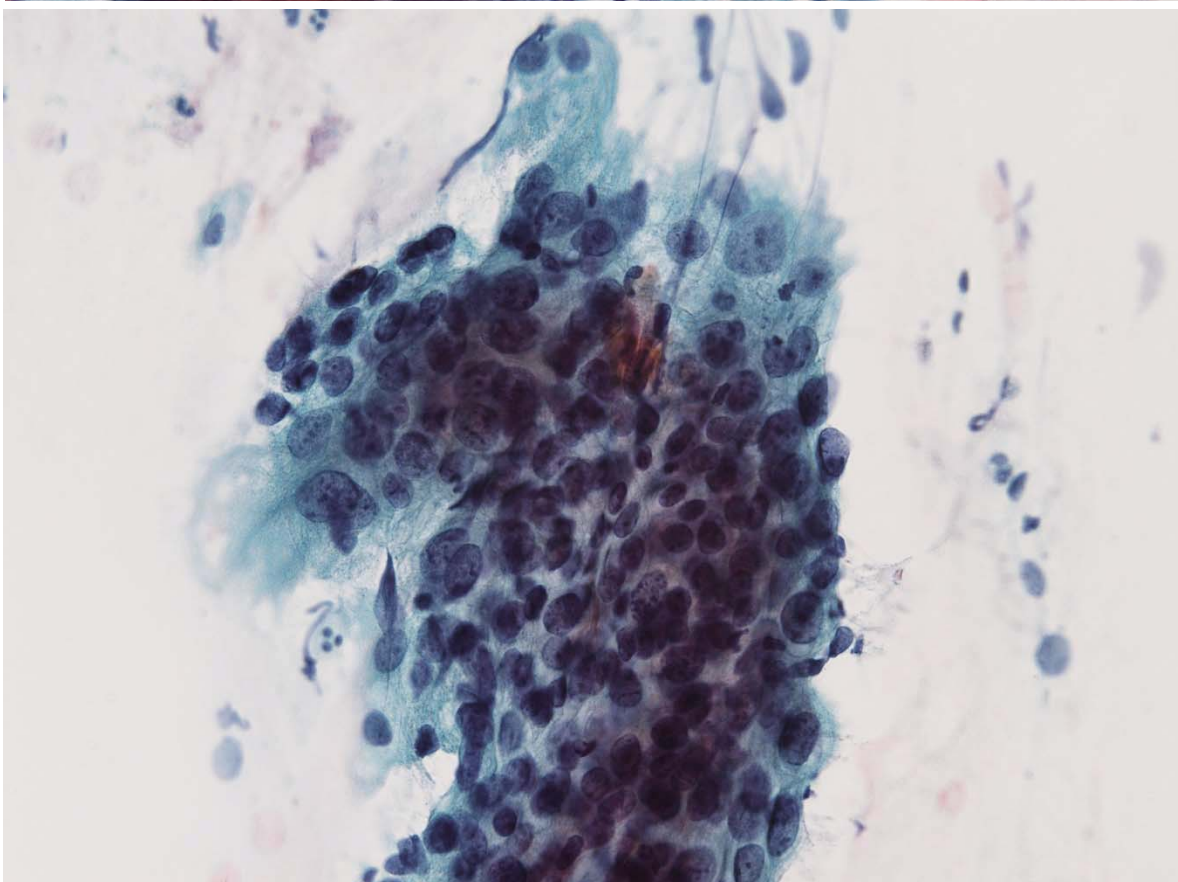
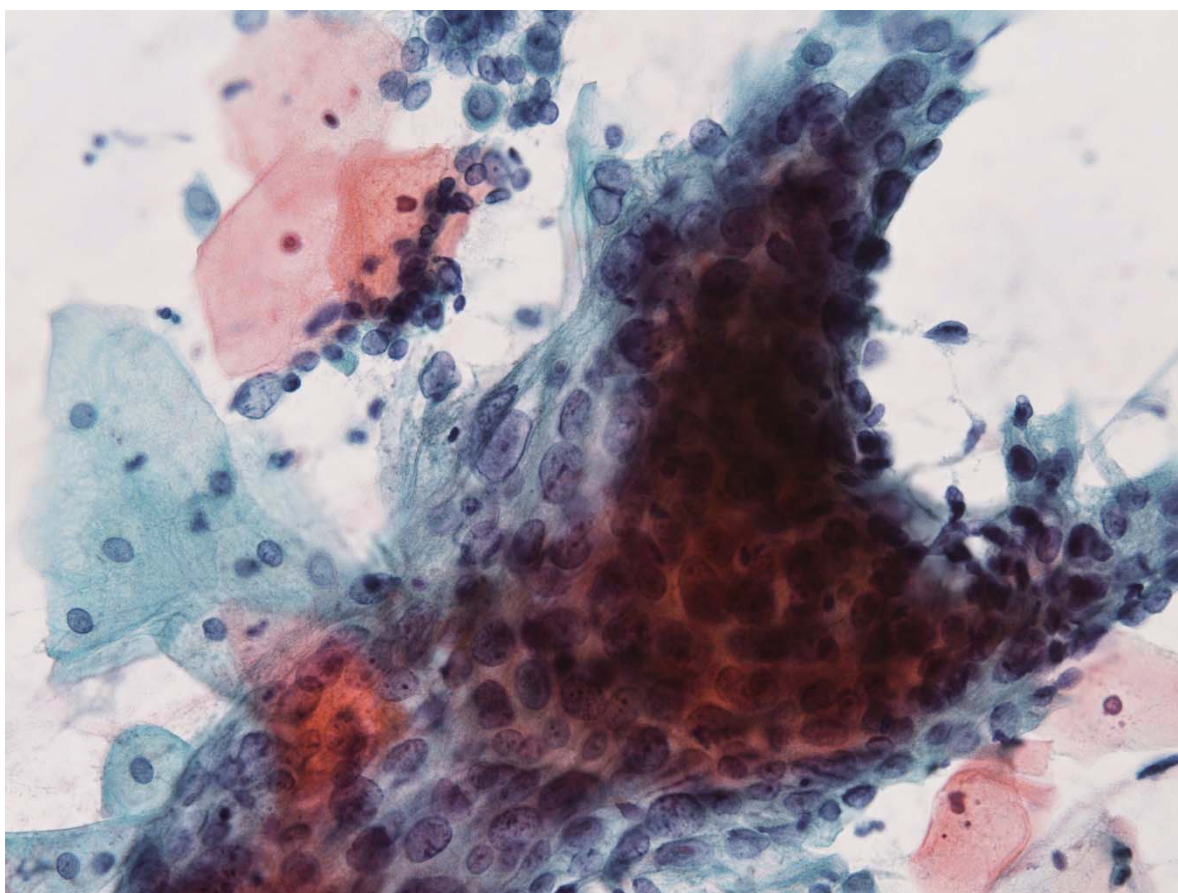
出題者：阪田 幸範（日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部）

年齢：40 歳代 性別：女性 臓器：子宮頸部 採取方法： ブラシ

臨床経過：

更年期症状に対しホルモン補填療法中。1 週間前から性器出血が見られた為、当院産婦人科を外来受診。エコーにて子宮内膜は非薄、子宮筋腫あり。頸部細胞診と内膜細胞診を施行。





バーチャルスライド閲覧できます。（詳しくは p6）
Username、Password とともに「wscc」（すべて小文字）

スライドカンファレンス（2）耳下腺

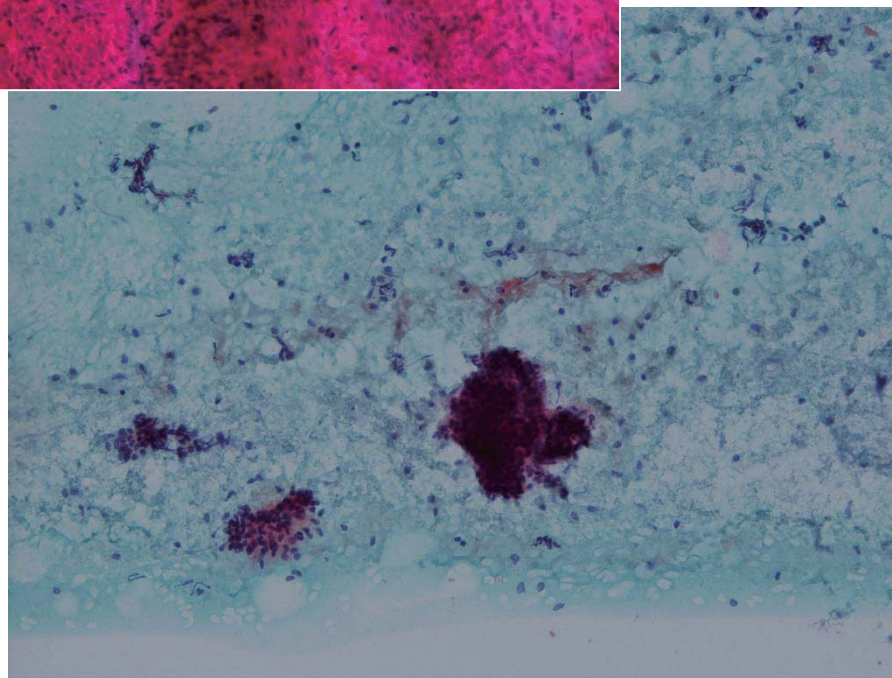
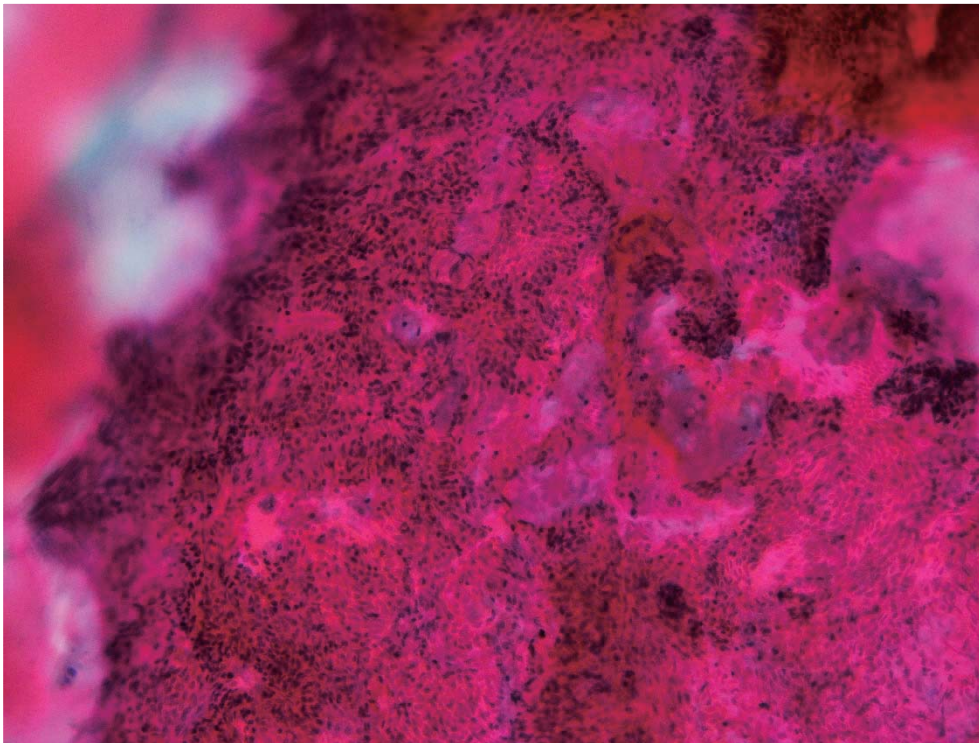
出題者：田中 真理（和歌山労災病院 中央検査部）

年齢：60 歳代 性別：男性

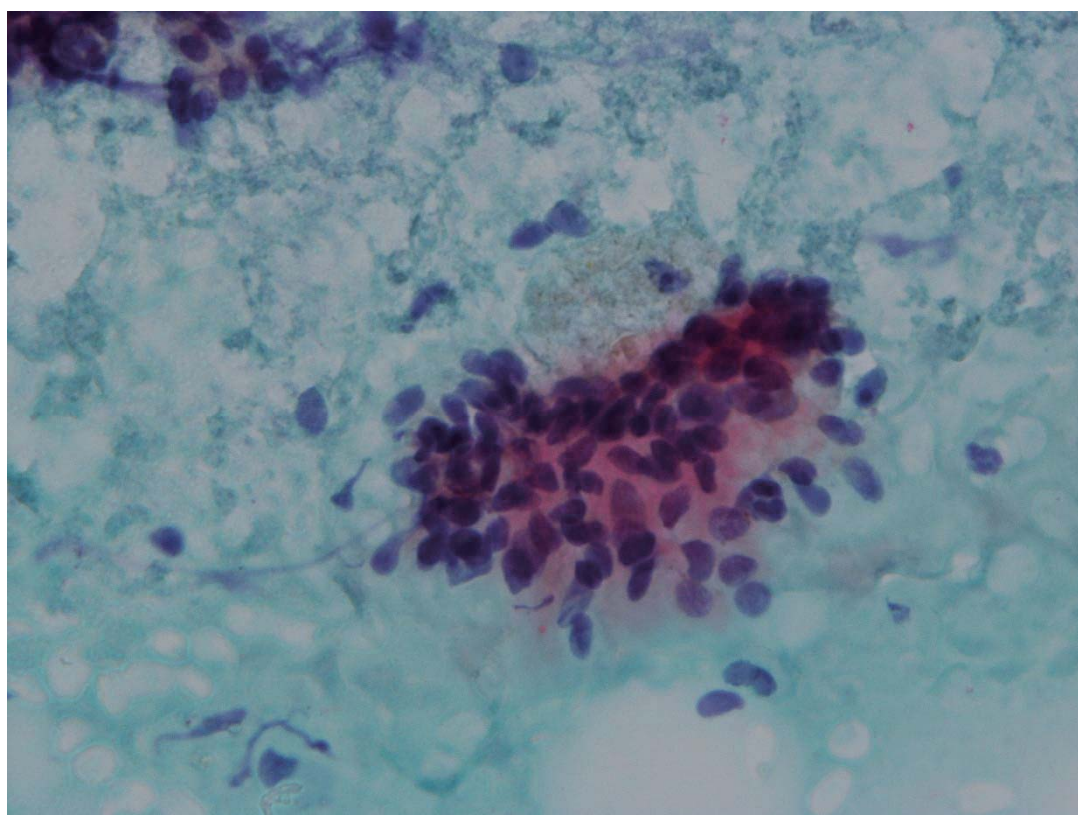
臓器：耳下腺 採取方法：穿刺吸引細胞診 標本作製法：直接塗抹

臨床経過：

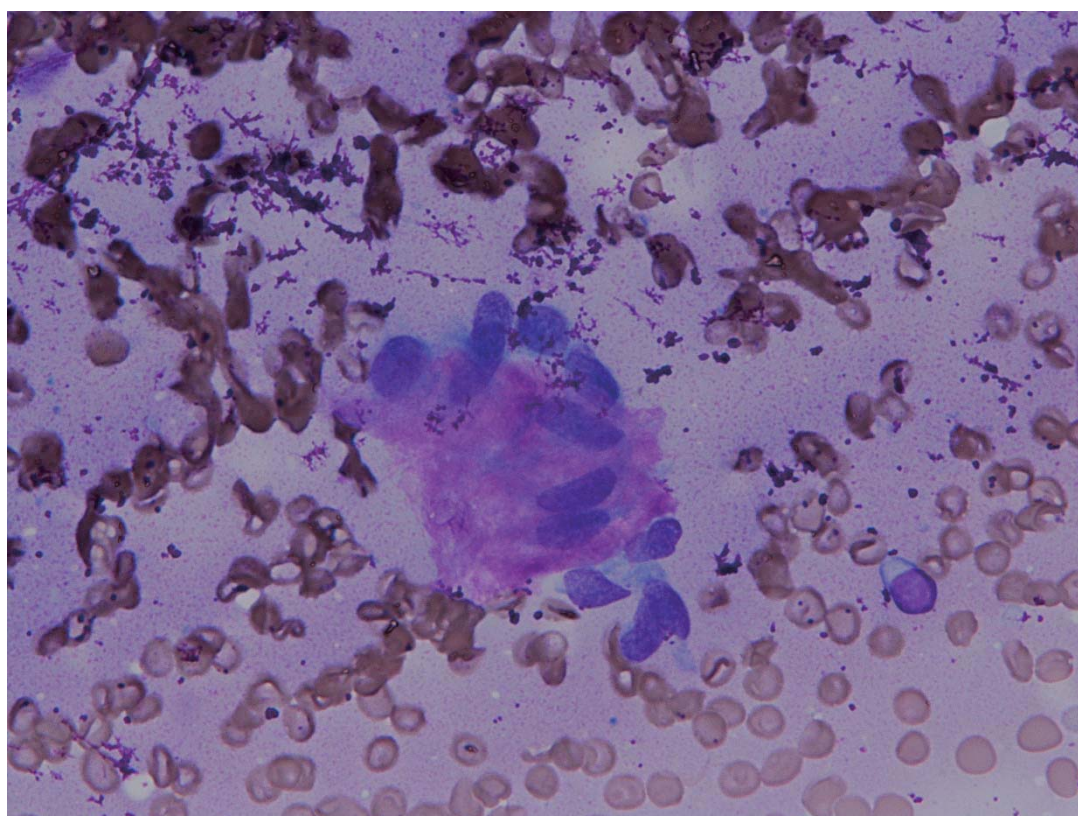
半年前より左耳下腺部腫瘍に気づく。腫瘍は、エコーにて直径約 2cm 弱で、可動性良好、弾性硬であった。精査加療目的にて、当院紹介受診となり、穿刺吸引細胞診が施行された。



（対物 10 倍 Papanicolaou 染色）



(対物 40 倍 Papanicolaou 染色)



(対物 40 倍 Giemsa 染色)

バーチャルスライド閲覧できます。(詳しくは p7)
Username、Password とともに「wscc」 (すべて小文字)



閲覧



事前投票

スライドカンファレンス（3）体腔液

出題者：木下 勇一（和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部）

年齢：50 歳代 性別：女性

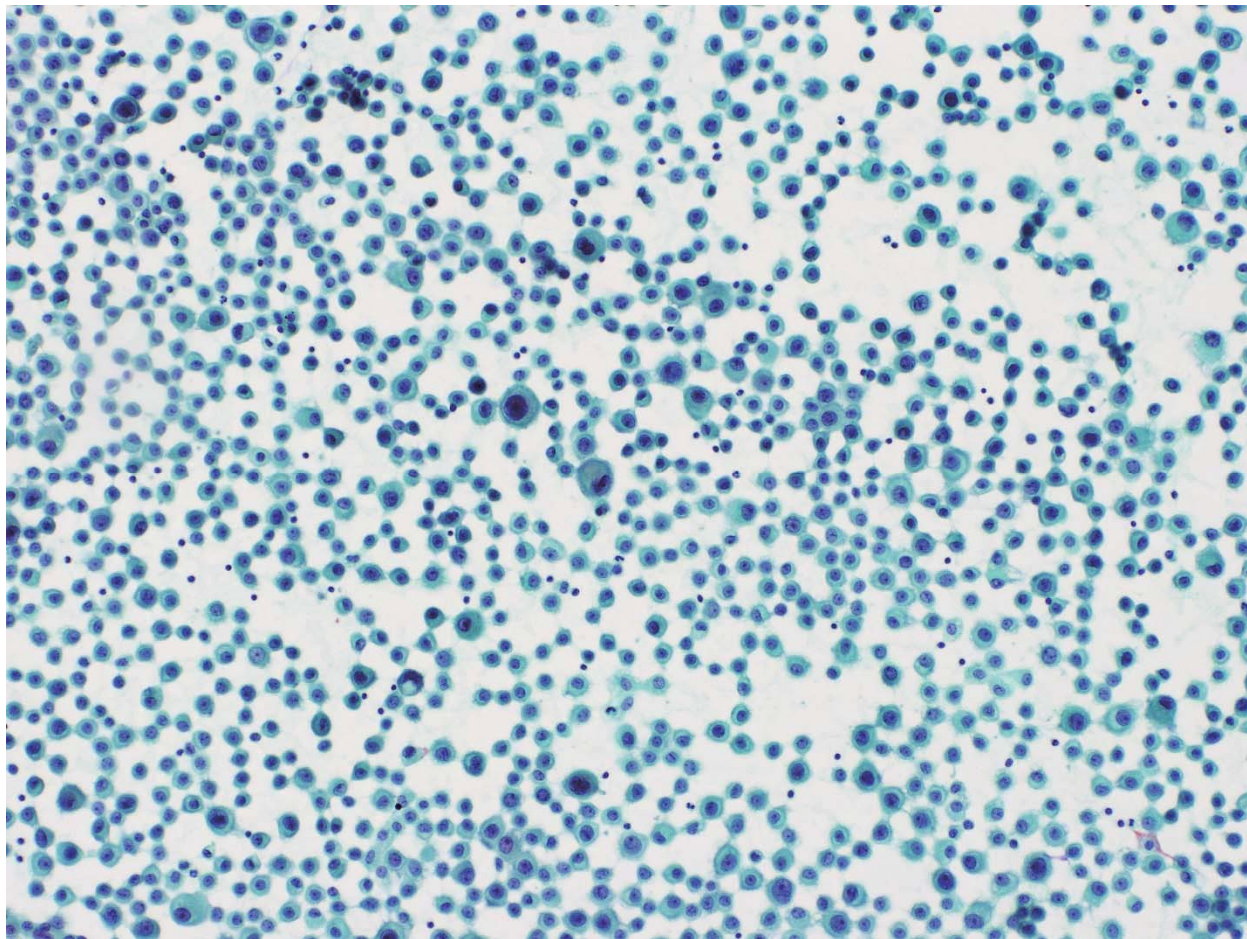
臓器：胸水

採取方法：胸腔穿刺

標本作製法：すり合わせ法

臨床経過：他院にて6年前に乳癌で手術および化学療法、放射線療法にて経過観察していたが、腫瘍マーカー上昇を認め、当院に紹介された。便潜血反応陽性であったため、内視鏡検査が施行され、横行結腸に腫瘍を認め、生検組織診で腺癌と診断された。また、PET 検査で縦隔リンパ節および骨に転移が見られた。

写真はパパニコロウ染色（対物 10 倍、40 倍）、ギムザ染色（40 倍）である。



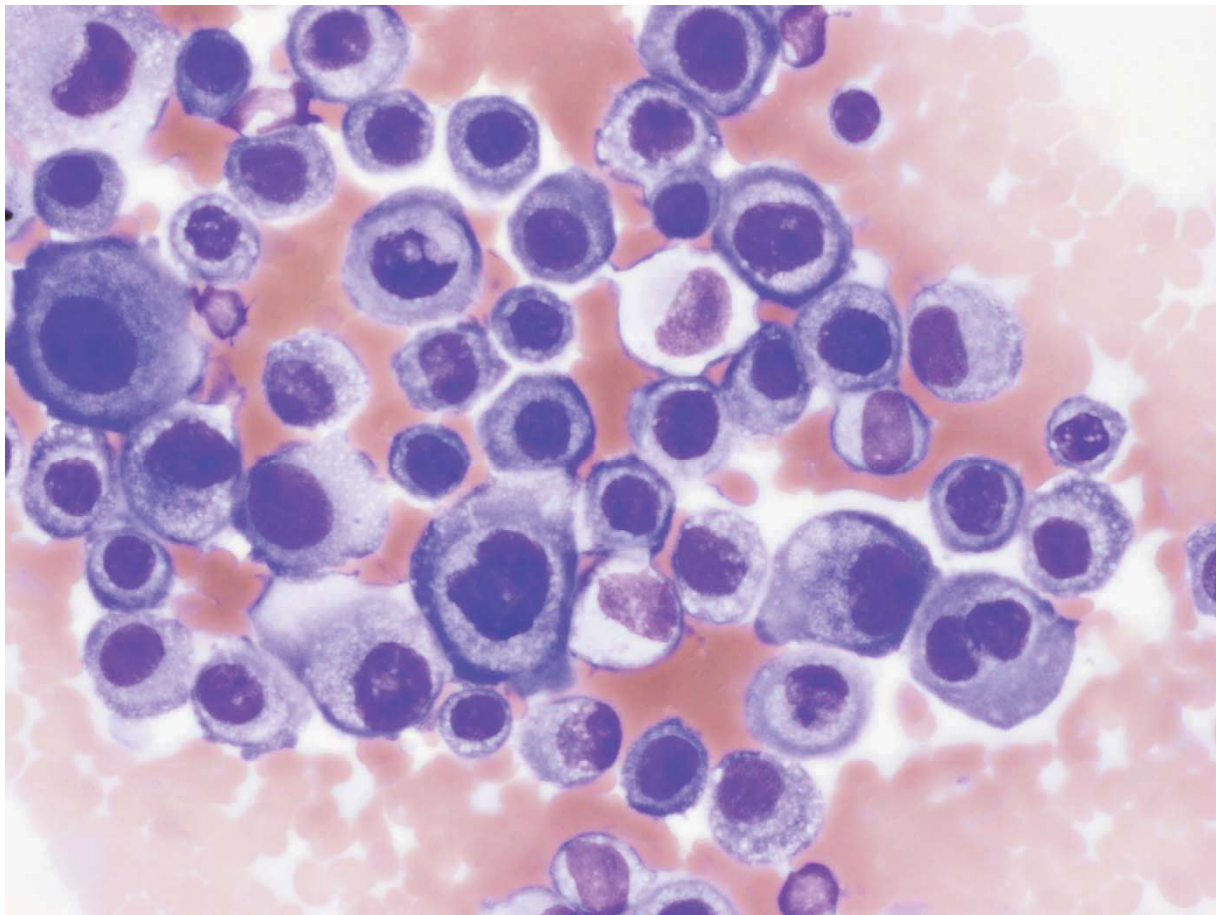
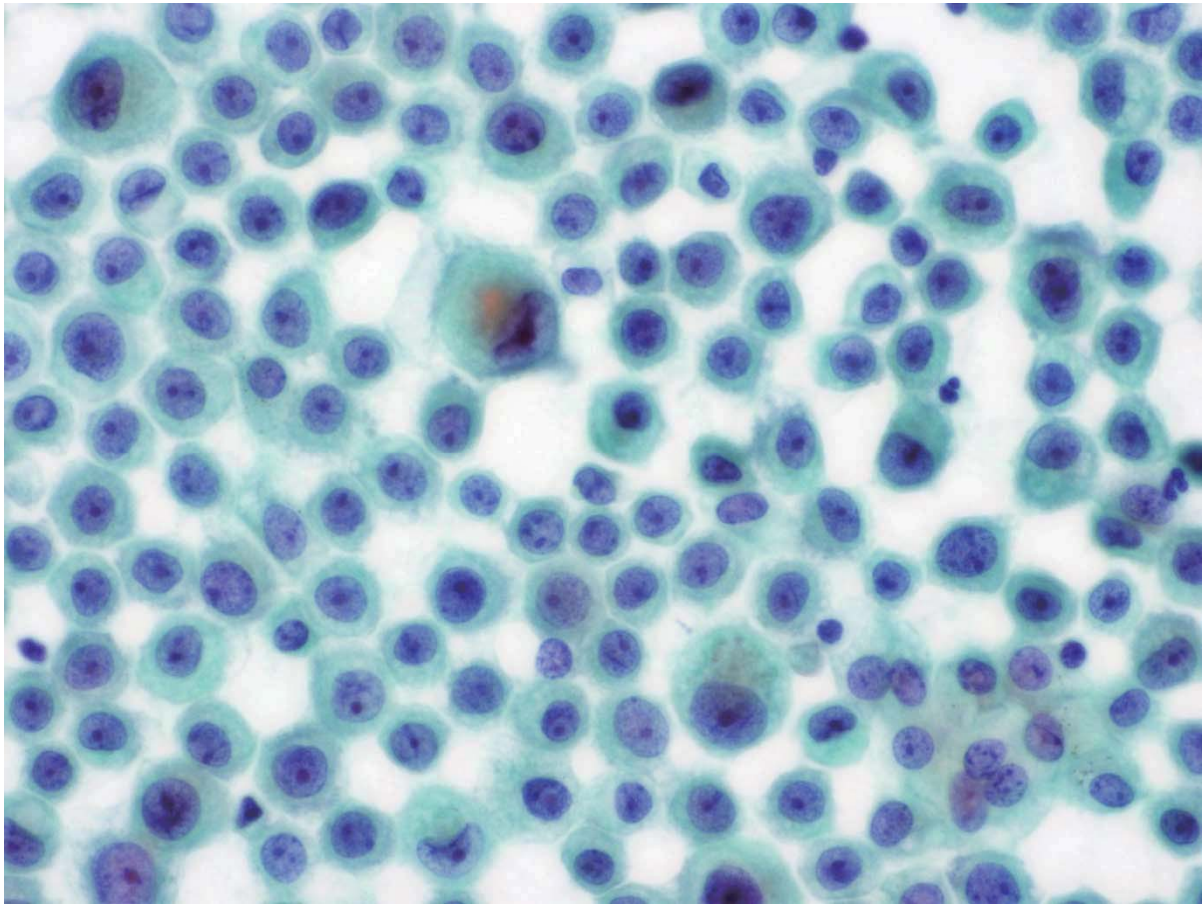
バーチャルスライド閲覧できます。（詳しくは p7）
Username、Password とともに「wscc」（すべて小文字）



閲覧



事前投票



スライドカンファレンス（4）乳腺

出題者：栗山 行央（紀南病院 中央臨床検査部）

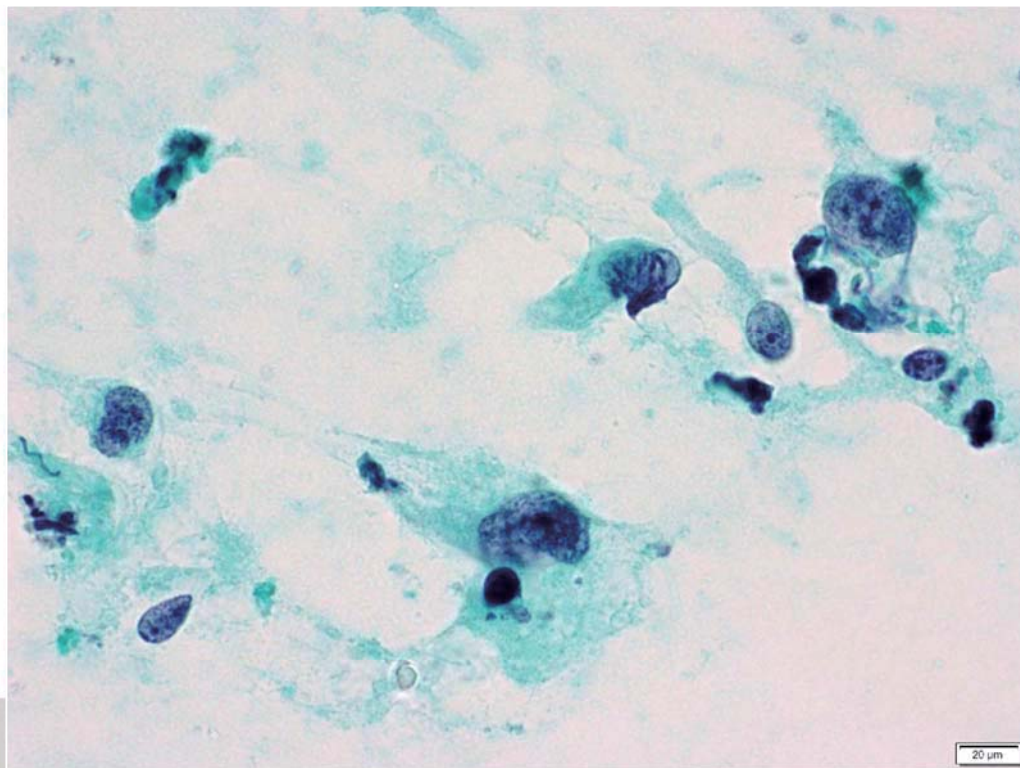
年齢：53 才 性別：女性

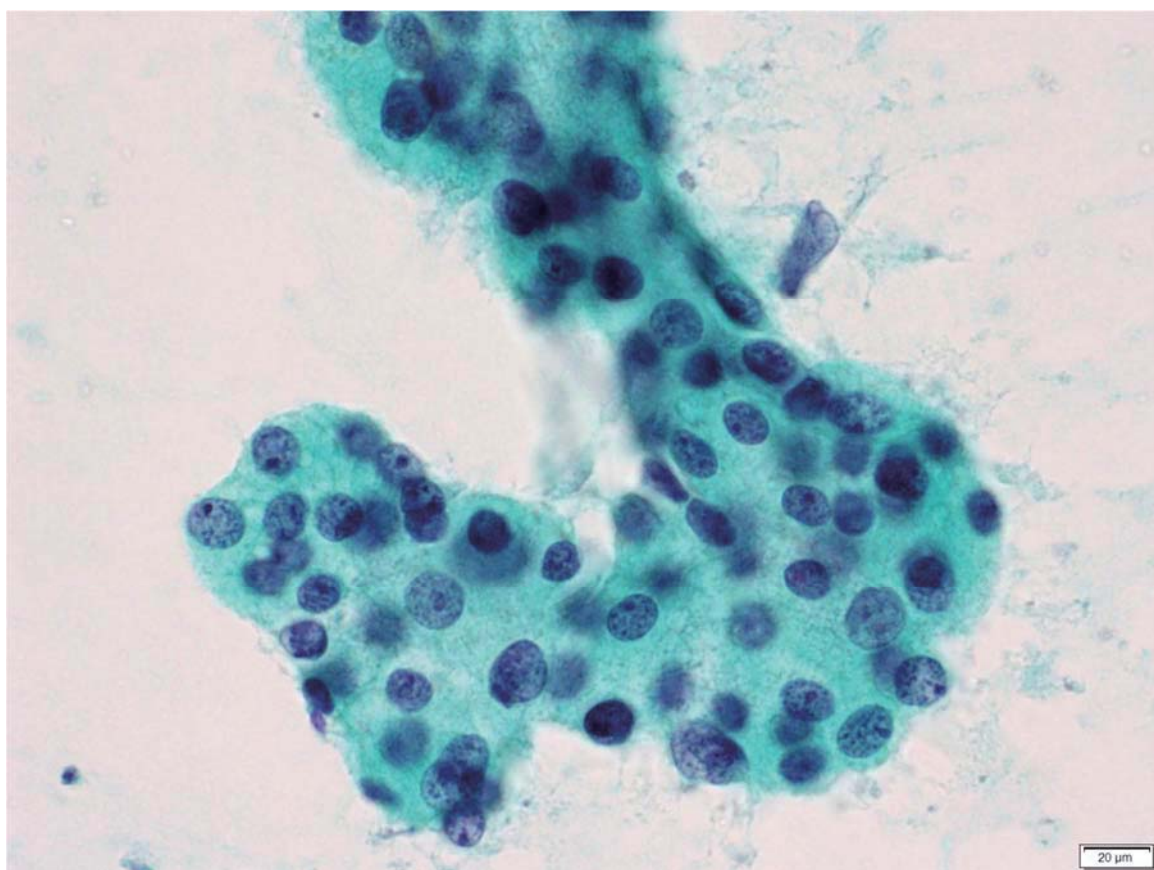
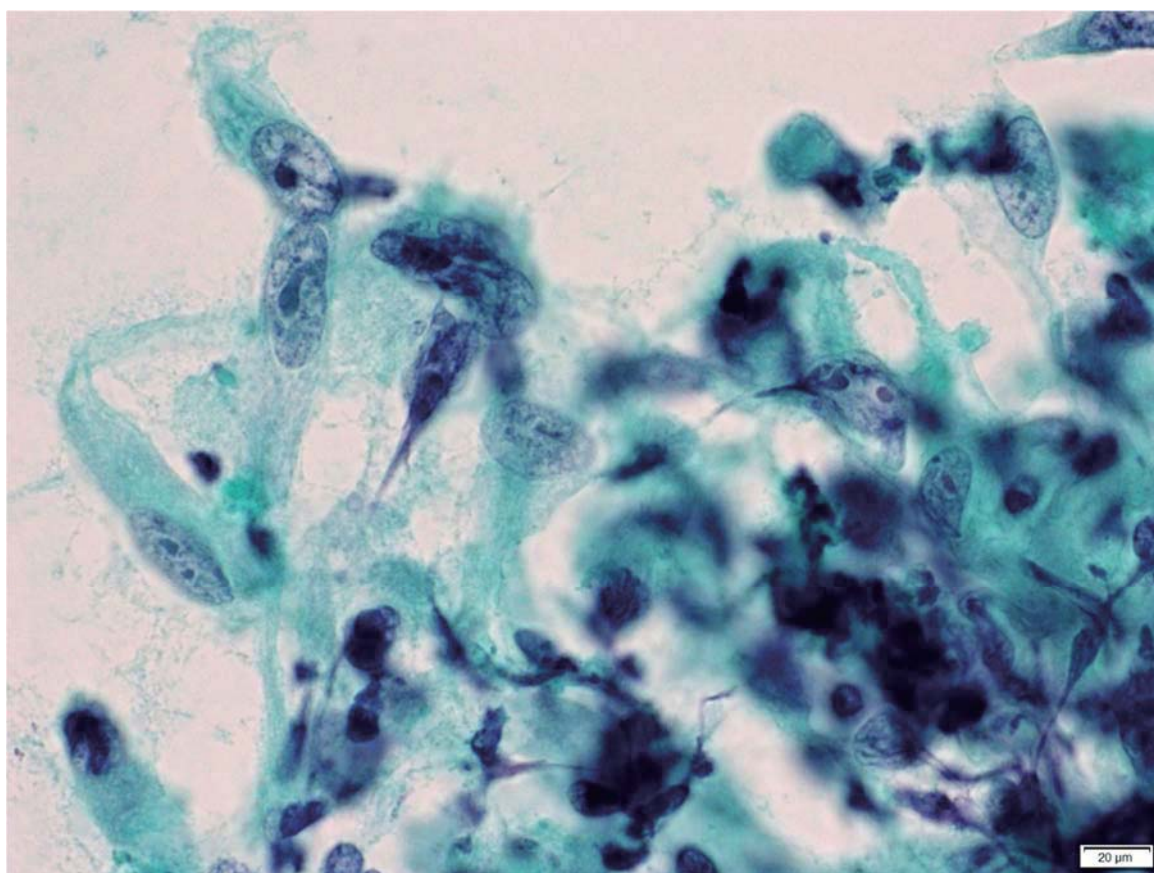
臓器：乳腺 採取方法：穿刺吸引 標本作製法：スライド捺印

臨床経過：

骨折治療中に左乳腺のしこりに気付く。

左乳腺 D 領域を中心に、乳輪部から 1.5 cm の部分に 4 cm 大の不整形の低エコー腫瘤を認め、FNAC を施行。





バーチャルスライド閲覧できます。（詳しくはp7）
Username、Passwordともに「wscc」（すべて小文字）



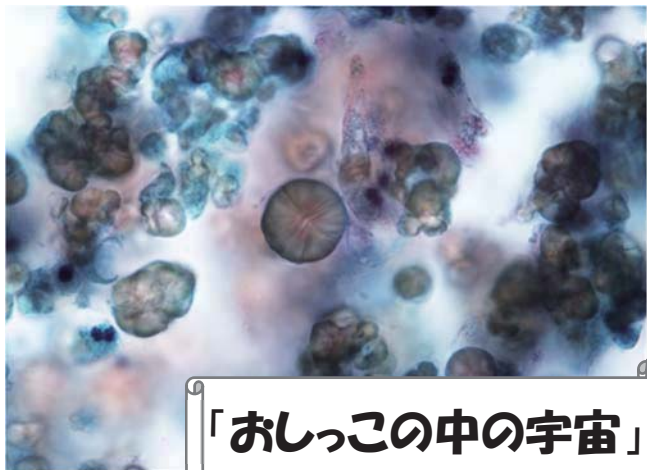
閲覧



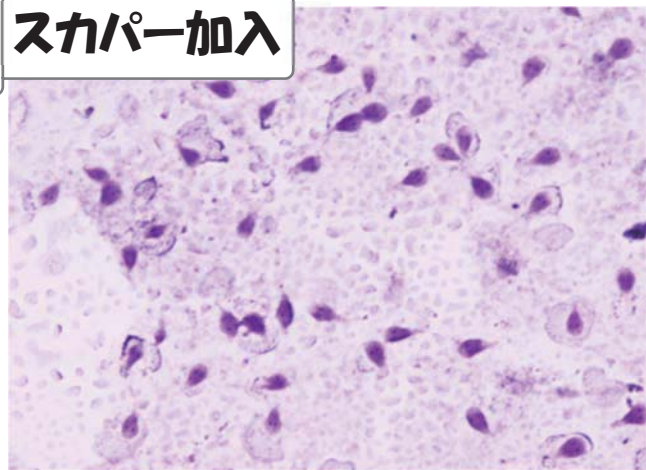
事前投票

フォトコンテスト

スカパー加入



「おしっこの中の宇宙」

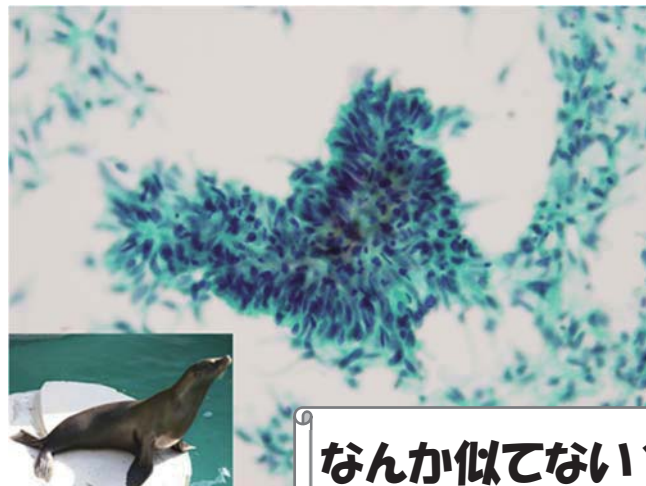


「幸せのハンカチ？」

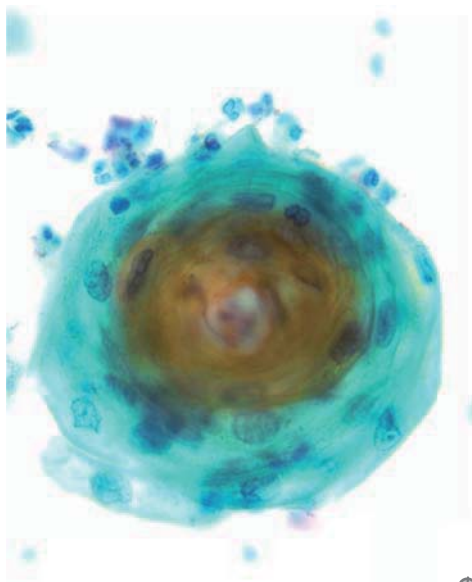
Candida に連なった扁平上皮細胞



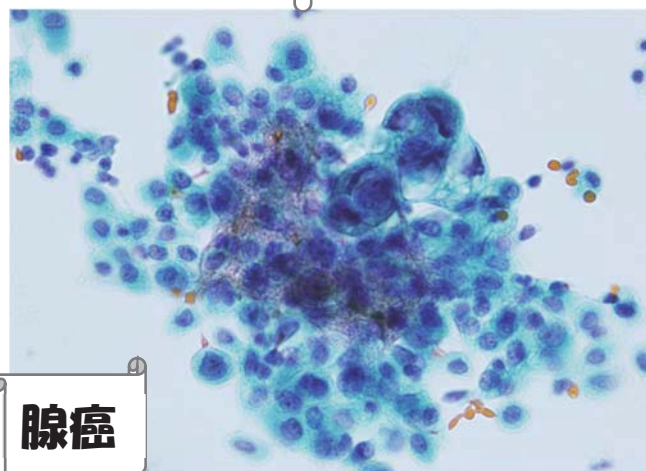
～もしもピアノが弾けたなら～



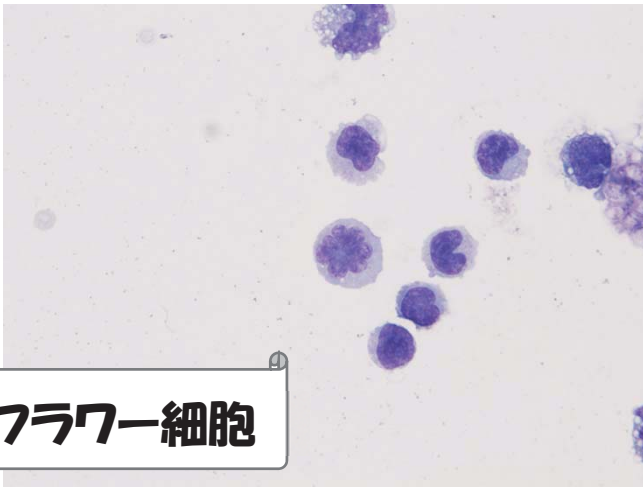
なんか似てない？



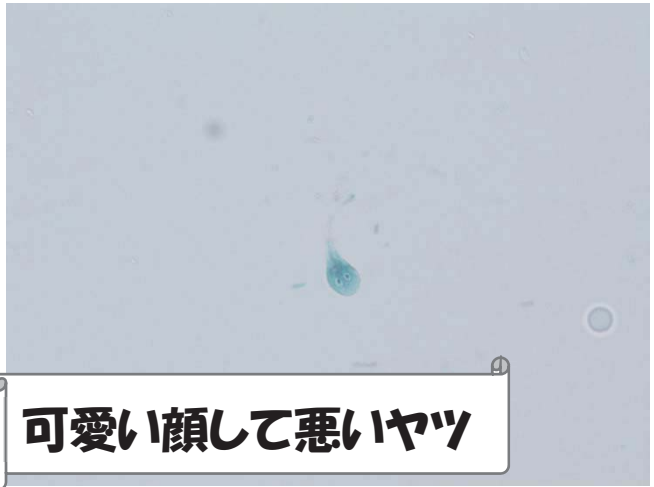
「ミニスナックゴールド」



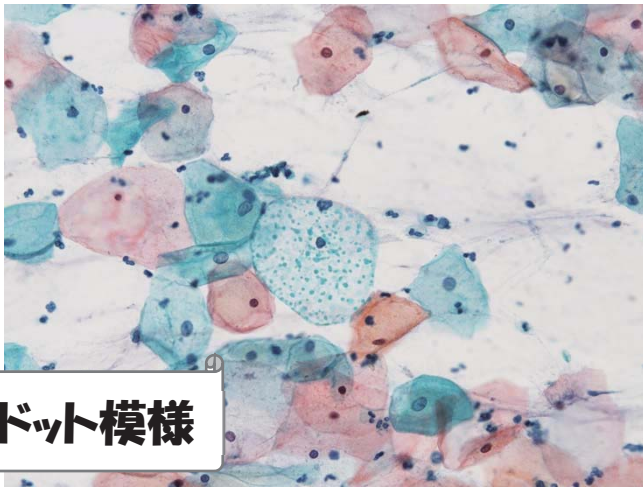
腺癌



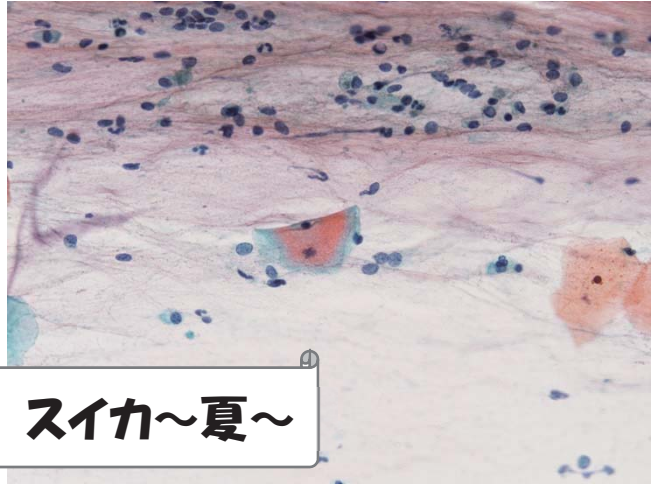
フラワー細胞



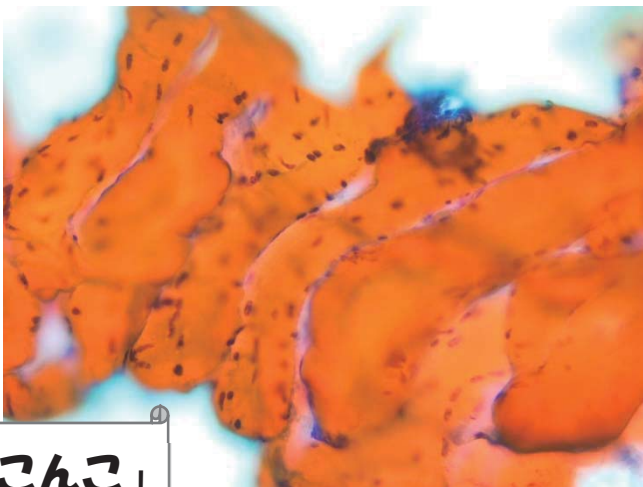
可愛い顔して悪いヤツ



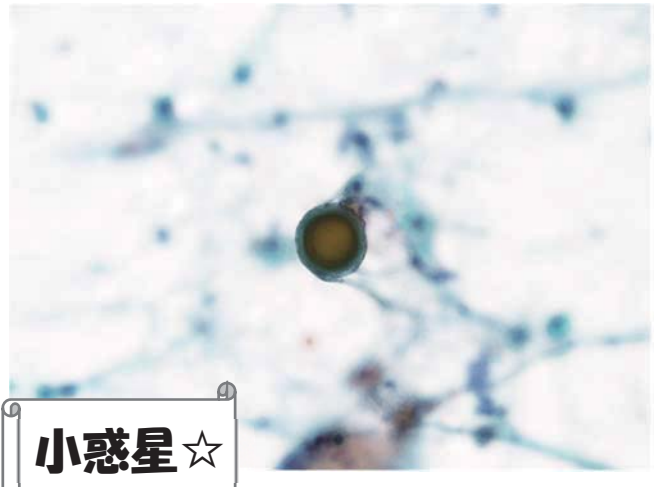
ドット模様



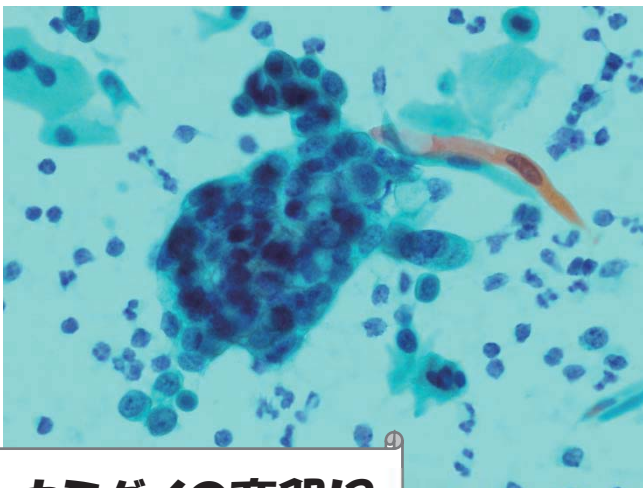
スイカ〜夏〜



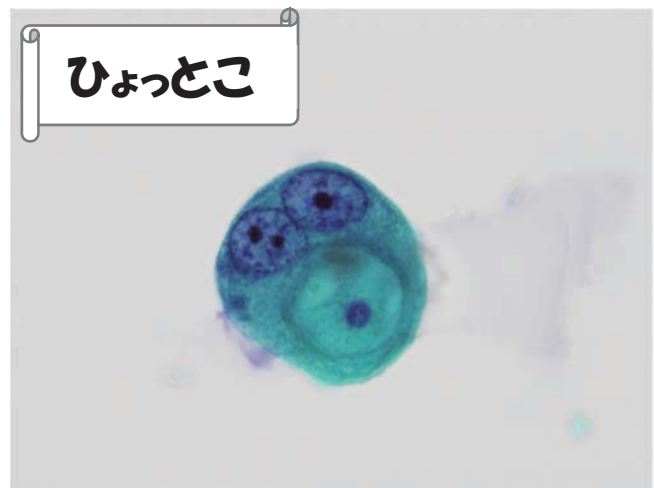
「こんこ」



小惑星☆



ウミガメの産卵!?



ひょっとこ

【平成 29 年度 和歌山臨床細胞学会活動報告】

- 1 月 12 日 平成 29 年第 1 回和歌山臨床細胞学会執行部会(18:30~19:15)
- 1 第 42 回和歌山臨床細胞学会学術集会について
 - 2 理事会の開催について
 - 3 第 43 回和歌山臨床細胞学会学術集会について
 - 4 子宮の日の活動について
 - 5 和歌山県細胞検査士会への補助金について
- 【症例検討会】腎盂尿（紀南病院）、乳腺（和歌山市医師会成人病センター）
- 2 月 4 日 第 42 回和歌山臨床細胞学会総会・学術集会
- 学術集会長 田中 真理 CT (和歌山労災病院 中央検査部)
- 会場 和歌山労災病院
- 3 月 16 日 平成 29 年第 2 回和歌山臨床細胞学会執行部会(18:30~19:00)
- 1 第 42 回和歌山臨床細胞学会学術集会について
 - 2 第 43 回和歌山臨床細胞学会学術集会について
 - 3 子宮の日の活動について
 - 4 事務局より
年度期間を 1 月 1 日から 12 月 31 日(会計年度と同期間)とする
HD 購入について
 - 5 和歌山県細胞検査士会への補助金について
- 4 月 8 日 LOVE49 活動 子宮頸がん検診啓発イベント（スタッフ参加者 16 名）
- JR 和歌山駅西口および東口；
- 西口軒下ポスター(3 枚)展示、パンフレットの配布、アンケート
- 4 月 15 日 LOVE49 活動 子宮頸がん検診啓発イベント（スタッフ参加者 7 名）
- 熊野本宮大社前；パンフレットの配布、アンケート
- 4 月 29 日 LOVE49 活動 子宮頸がん検診啓発イベント（スタッフ参加者 9 名）
- 田辺市扇ヶ浜かっぱーく；パンフレットの配布、アンケート
- 5 月 18 日 平成 29 年第 3 回和歌山臨床細胞学会執行部会(18:30~19:15)
- 1 第 43 回和歌山臨床細胞学会学術集会について
 - 2 転入転出に伴う学会員の把握について；紹介および自己申告制とする
 - 3 第 58 回日本臨床細胞学会総会への協力について
 - 4 子宮の日の活動報告
 - 5 細胞診標本の適否について
 - 6 第 43 回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会について
- 7 月 8 日 和歌山県細胞検査士会勉強会(11:00~15:00)
- 場所；紀南病院検査室
- 内容；「当院におけるセルブロック法について」講師；峰 高義 CT
- 午後；症例検討会

- 7月27日 平成29年第4回和歌山臨床細胞学会執行部会(18:30~19:30)
- 1 第43回和歌山臨床細胞学会学術集会について
 - 2 細胞診標本の適否について
 - 3 第58回日本臨床細胞学会総会細胞検査士会都道府県代表者委員会報告
 - 4 第58回日本臨床細胞学会総会協力謝金について
 - 5 慶弔について
- 9月21日 平成29年第5回和歌山臨床細胞学会執行部会(18:30~19:15)
- 1 第43回和歌山臨床細胞学会学術集会について
 - 2 第44回和歌山臨床細胞学会学術集会について
学術集会長；峰 高義 CT (紀南病院 中央臨床検査部)
 - 3 細胞診標本の適否について
 - 4 第45回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会 (2019年、和歌山担当)について
 - 5 吉田 恵 CT 細胞検査士会50周年記念功労賞受賞祝賀会について
11月25日(土)；ホテルアバローム紀の国
 - 6 ピンクリボン紀南2017熊野本宮大社ピンクライトアップについて
【症例検討会】腎盂尿 (紀南病院)
- 10月8日 ピンクリボン紀南2017熊野本宮大社ピンクライトアップ
熊野古道リ・ボーンウオーク、乳がん講演会&コンサート
点灯式と熊野本宮大社大斎原の大鳥居ピンクライトアップ
- 11月16日 平成29年第6回和歌山臨床細胞学会執行部会(18:30~19:15)
- 1 第43回和歌山臨床細胞学会学術集会について
 - 2 横田 栄夫先生；旭日双光章受賞祝賀会について
 - 3 細胞診標本の適否について
 - 4 新入会会員について
 - 5 第45回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会長 (2019年、和歌山担当)について

【平成30年度 和歌山臨床細胞学会活動予定】

- 2月3日 ○第43回和歌山臨床細胞学会総会・学術集会
学術集会長 谷本 敏先生(和歌山労災病院 副院長)
会場 和歌山県 JA ビル
特別講演演者；青木 大輔先生(慶應義塾大学医学部 産婦人科学教室 教授)
教育講演演者；河原 明彦先生(久留米大学病院 病理診断科病理部 副技師長)

- ◇ LOVE49 子宮の日の活動(和歌山市内、紀南地区)
- ◇ 和歌山県細胞検査士会勉強会は年2回開催予定
- ◇ 執行部会は奇数月の第3木曜日 18:30~
和歌山県立医科大学研究棟7階 病理診断科にて開催予定

役員（平成30年1月1日現在）

会長	村田 晋一	和歌山県立医科大学 人体病理学教室 教授
副会長	井篁 一彦	和歌山県立医科大学 産科婦人科学教室 教授
	吉田 恵	和歌山労災病院 中央検査部主任
理事	稲垣 充也	公立那賀病院 臨床検査科
	今井 秀彰	桜ヶ丘病院 婦人科医長
	大石 博晃	和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部技師長
	尾崎 敬	紀南病院 中央臨床検査部部長
	真谷 亜衣子	日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部 病理課長
	田中 真理	和歌山労災病院 中央検査部
	谷本 敏	和歌山労災病院 副院長
	坪田 ゆかり	和歌山労災病院 病理診断科部長
	土居 淳子	和歌山市医師会成人病センター
	峰 高義	紀南病院 中央臨床検査部
	吉田 隆昭	日本赤十字社和歌山医療センター 産婦人科部長
監事	岡田 雄一	日高マタニティクリニック 院長
	宮木 康夫	日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部
名誉会員	赤山 紀昭	元赤山産婦人科医院 院長
	馬淵 義也	馬淵医院 院長
	矢本 希夫	和歌山労災病院 女性診療科部長
	横田 栄夫	関西医療大学 元看護学部部長



抗悪性腫瘍剤
ヒト化抗ヒトPD-1モノクローナル抗体

薬価基準収載

キイトルダ®

点滴静注 20mg・100mg

ペムブロリズマブ(遺伝子組換え)製剤

KEYTRUDA®

生物由来製品 | 創薬 | 処方箋医薬品 | (注意—医師等の処方箋により使用すること)

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については
添付文書をご参照ください。

製造販売元
MSD MSD株式会社
〒102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12 北の丸スクエア
<http://www.msd.co.jp/>

販売提携
TAIHO 大鵬薬品工業株式会社
東京都千代田区神田錦町1-27

2017年6月作成
KML17AD074N-0618

ヘルスケアの未来を変えていく。

健康で安心な社会を創造していくというビジョンのもと、
より多くの人々にKAITEKIを届けてまいります。



株式会社LSIメディエンス

臨床検査 / 健康診断サポート / 診断薬・機器 /
創薬支援 / 環境リスク評価 / 食の安全サポート / ドーピング検査



LSIメディエンスは、(株)三菱ケミカルホールディングスの事業会社である
(株)生命科学インスティテュート(Life Science Institute, Inc.)のグループ企業です。

〒101-8517 東京都千代田区内神田一丁目13番4号 THE KAITEKI ビル



SEIKO MEDICAL

医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

医療・保健・福祉・介護の分野で、
「生命を守る人の環境づくり」を通じて
地域の発展に貢献することが
私達の使命です。



■本 社

〒640-8287 和歌山市築港6丁目9番地の10
TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223

■大阪支店

〒595-0012 泉大津市北豊中町2丁目5番28号
TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619

■医大前営業分室

〒641-0012 和歌山市紀三井寺768番地の13
TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781

■田辺営業所

〒646-0011 田辺市新庄町2744番地
TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578

■新宮営業所

〒647-0072 新宮市蜂伏20番22号
TEL. 0735-31-9130 FAX. 0735-31-9133

■奈良営業所

〒632-0082 天理市荒蒔町56番地の4
TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810



医療の進歩した現代社会においても
いまだ根本的な治療法が見つからない、
深刻な病と闘う方々があります。
不安を抱えた患者さんご家族の、
より良い明日を育むため、
私たちは挑戦し続けます。

私たちは、いまだ根本的な治療法がない、
がん、慢性肝炎、関節リウマチ、
心房細動などに注力する
スペシャリティ・バイオフーマ企業であり、
がん免疫療法のパイオニア。
先進のバイオテクノロジーで、
先例のない革新的な治療薬を
継続的に創出してきました。

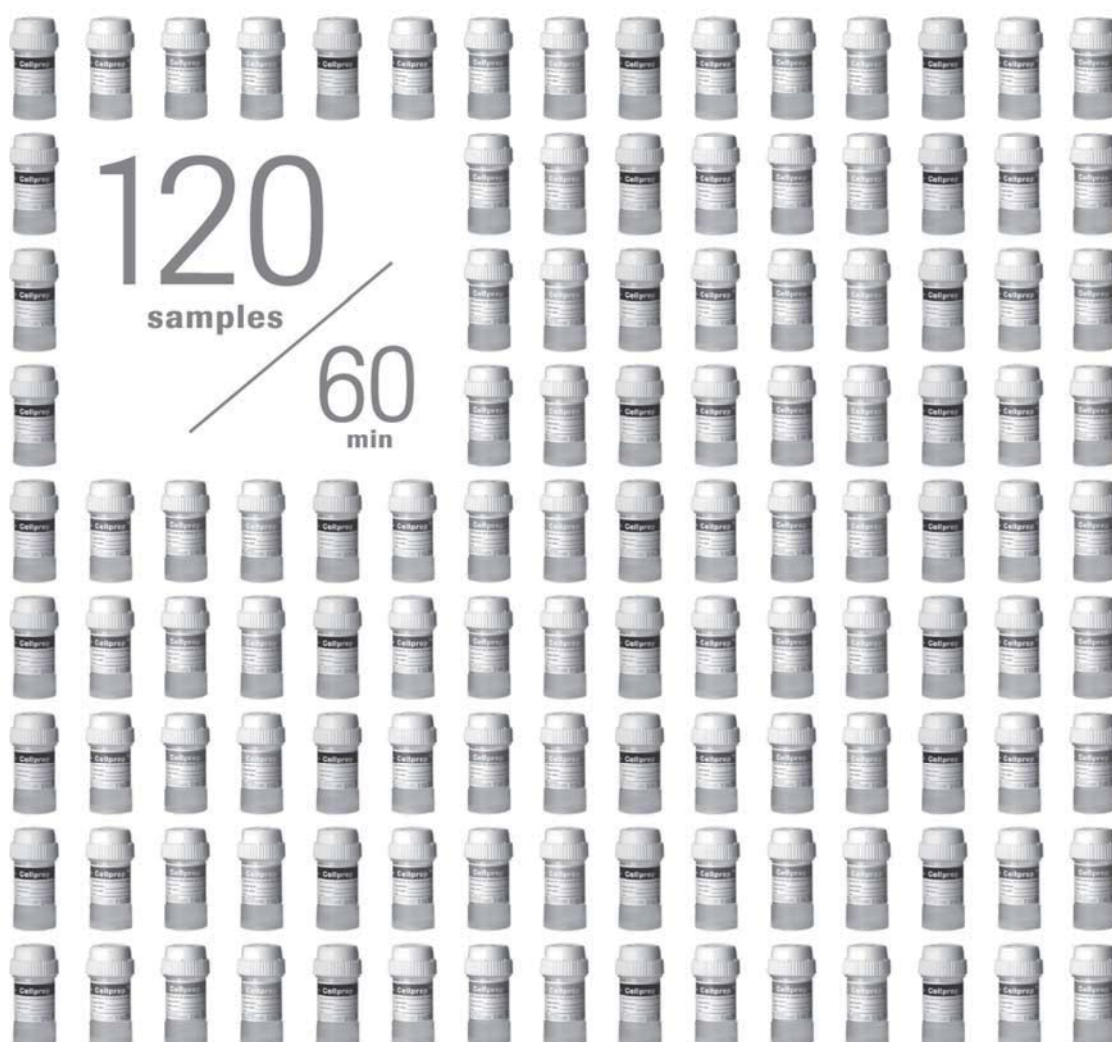
患者さんと共に病に立ち向かい、
これからも、より確かな、
いのちの未来を開いていきます。

革新的な医薬品で、
患者さんご家族の
希望をつくる。

ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

www.bms.co.jp

LBCに新たな風を、ロシュから。



1検体約30秒処理が、ロシュのLBC。

“風圧”を利用したCellprep法。その高い精度と迅速な処理スピード、
優れた汎用性が、細胞診を変える。

Cellprep[®] PLUS

Liquid Based Cytology 次世代液状化検体細胞診システム



お問い合わせ ロシュ・ディアグノスティクス株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-2-70
カスタマーソリューションセンター ☎0120-600-152 <http://www.roche-diagnostics.jp>

密閉式自動固定包埋装置
 ティッシュ・テック® VIP™ 6 AI

製造販売届出番号: 20B2X00014000032

— 進化し続けるVIPシリーズ —
**効率的なプロセッシングの
 運用をサポート**

- 標本品質向上を目指した最適プログラムのご提案
- ソリューションマネージャーによる検体保護機能
- 自動給液や処理中の自動薬液交換機能により
 利便性を向上

 サクラファインテックジャパン株式会社
 東京都中央区日本橋本町3-1-9
<http://www.sakura-finetek.com>



What's *Plus*?

Speed〈処理能力〉Flexible〈柔軟性〉Reliable〈信頼性〉

Automated Slide Stainer and Coverslipper

自動染色装置と
 自動ガラス封入装置の連結で、
 ワークフローの効率化を実現



自動ガラス封入装置

ティッシュ・テック® グラス™ ジー2 + ティッシュ・テック® プリズマ™ プラス

製造販売届出番号 20B2X00014000023

自動染色装置 DRSシリーズ

製造販売届出番号 20B2X00014000034

 サクラファインテックジャパン株式会社
 東京都中央区日本橋本町3-1-9
<http://www.sakura-finetek.com>

L684.1706.B51/2.R1.T

第 43 回和歌山臨床細胞学会総会学術集会

《事務局》

和歌山県立医科大学・人体病理学教室

〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1

電話: 073-441-0635 FAX: 073-444-5777

メール: wsc@wakayama-med.ac.jp

ホームページ: <http://wsc.umin.jp>